

<b>A2060</b>	<b>相模鉄道 ED11+ED12 重連セット</b>	<b>再生産</b>	<b>予価: 14,000円 (税別)</b>
			JANコード: 117163 カートン内入数: 24

<b>A2062</b>	<b>三岐鉄道 ED451タイプ+ED453タイプ 重連セット</b>	<b>再生産</b>	<b>予価: 14,000円 (税別)</b>
			JANコード: 117187 カートン内入数: 24

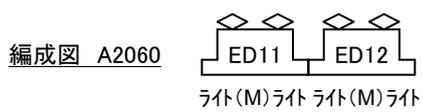
<b>商品形態</b>	Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 2両用紙箱入り)
<b>実車</b>	<p>相模鉄道のED11は1952(昭和27)年に製造された東洋電機製45t箱型の電気機関車です。車体形状は独特の丸みを帯びたデッキ付きの車体で、3000系電車から流用したDT13台車、主電動機は128kwのMT30を搭載していました。ED12は1953(昭和28)年に増備された車両で、ED11が金属サッシであるのに対し、Hゴム支持となりました。相模大塚の米軍厚木基地へのタンク輸送や相模川砂利輸送、厚木への小野田セメント輸送等に使用されてきましたが、1998(平成10)年9月に貨物輸送が廃止され、近年は新型車両や旧車車両の回送等に使用されていました。</p> <p>三岐鉄道ED45形電気機関車は1954(昭和29)年3月の三岐鉄道全線電化に合わせて電気機器を東洋電機製造、車体を東洋工機で新造したもので2月にED451~ED453が入線しました。車体形状は丸みを帯びたデッキ付きの車体で、運転台が右側にあるのが特徴です。1970(昭和45)年1月には全車重連化され総括制御が可能になり、後に前照灯が2灯シールドビームに交換。乗務員扉や側面窓の形状が若干変更されています。現在でも三岐鉄道の主力機関車として活躍中です。</p>
<b>商品概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイクロエース私鉄電機機関車シリーズの更なる充実</li> <li>・多くのリクエストにお応えして小型私鉄電機2種を再生産</li> <li>・ヘッドライト点灯。LED使用</li> <li>・2両共動力車のセットです</li> </ul>

**マルーン1色の電気機関車**



- ・ED11の2エンドにはダミーカプラーを装着
- ・2両共動力車
- ・屋根上には相鉄無線アンテナを搭載
- ・ED11の側面窓枠はボディ色のマルーン
- ・ED12の側面Hゴムは黒

相模鉄道株式会社商品化申請中



**茶色の車体に黄帯の電気機関車**



- ・ED451の2エンドにはダミーカプラーを装着
- ・2両共動力車
- ・ED451の側面乗務員室窓枠はボディ色の茶色
- ・ED453の側面乗務員室窓サッシは銀仕上
- ・同時発売予定のA2089 ホキ10000、A3132 ホキ1000の牽引機に好適です
- ※部品共用のためボディ裾形状が一部実車と異なります

三岐鉄道株式会社承認済



<b>オプション</b>	なし
<b>付属品</b>	ダミーカプラー、連結用カプラー